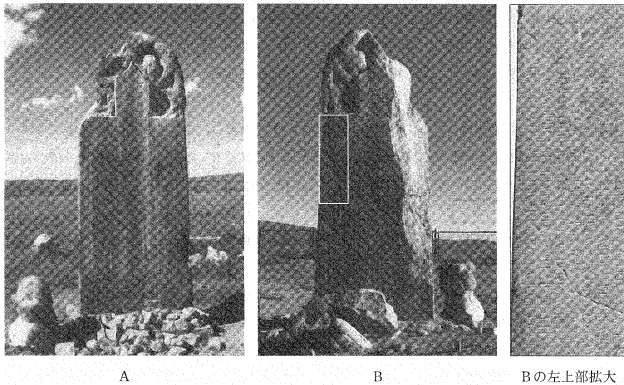


1 次の文章を読んで、問1～10に答えなさい。



上の写真は、モンゴル高原で発見された突厥の石碑である。碑の形式は中国風であり、1面には漢文が刻まれているが(写真A)、他の3面には突厥文が刻まれている(写真B)。突厥文字の起源はアラム文字・ソグド文字にあるといわれることもあるが、確定ではない。いずれにしてもこの文字は中国の北方に興った遊牧国家が最初に作り上げた独自の文字であった。突厥は、分裂していた北中国の情勢を巧みに利用して国勢を拡大し、西方ではササン朝と共同して対立勢力を破り、中央アジアに進出した。

突厥に続いて起こったウイグルも同じ文字を使用した⁽⁵⁾が、モンゴル高原でいったん滅んだあと一部が西方へ移動して建国された天山ウイグル(西ウイグル)王国では、ソグド文字に由来するウイグル文字が使われた。一方、突厥とウイグルで独自の文字が使われるようになったころ、チベット(吐蕃)でもインド系の文字を基にして独自の文字が作られた。

ウイグルが滅んだあと、モンゴル高原東部を中心としてキタイ(契丹)⁽⁷⁾が強力な国家を作った。キタイは、漢字を模倣してはいるが、独自の契丹文字を作り出した。(宋と結んで)キタイを滅ぼした女真人の金もまた契丹文字を模倣して女真文字を作り出した。キタイ・金と同じころ、今日の青海・甘肅・寧夏方面に存在したタングート人の西夏⁽⁸⁾も、漢字を模倣してはいるがまったく独自の西夏文字を作り出した。

— 9 — ◇M7(852—139)

問8 下線部⑧の西夏を建国したのは誰ですか。以下の①～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 8

① 李成桂 ② 李世民 ③ 李元昊 ④ 李自成

問9 下線部⑨のモンゴル高原の都と、東に移した都をそれぞれ何といいますか。以下の①～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 9

① カラコルムと大都 ② サマルカンドと杭州
③ カラコルムと杭州 ④ サマルカンドと大都

問10 下線部⑩のモンゴル文字を採用して満州文字とした満州王朝初代の皇帝は誰ですか。以下の①～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 10

① 耶律阿保機 ② スルハチ ③ 完顔阿骨打 ④ 耶律大石

— 11 — ◇M7(852—141)

西夏と金を滅ぼして大帝国を築き上げたモンゴルは、ウイグルの文字を採用してモンゴル文字とした。この文字は現在でも中国領内のモンゴル人によって使われている。モンゴル帝国2代目のオゴタイ(オゴデイ)は、モンゴル高原に都を建設したが、5代目のフビライ(クビライ)は支配の重心を東におき、都も東方に移した。元帝国が滅んでから約250年後に満州に興った金(のちに清)は、モンゴル文字を応用して満州文字を作った。

朝鮮半島や日本、ベトナム北部では漢字が使われたが、より中国と長い国境線をもっていた北方や西方の諸国では、独自の文字が使われたのである。

問1 下線部①の突厥が建国されたのは、何世紀のことですか。以下の①～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 1

① 3世紀 ② 4世紀 ③ 5世紀 ④ 6世紀

問2 下線部②の突厥の言語は何語系でしたか。以下の①～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 2

① アラビア語 ② ペルシア語 ③ トルコ語 ④ モンゴル語

問3 下線部③の分裂していた北中国には、何という王朝がありましたか。以下の①～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 3

① 西周と東周 ② 北周と北斉 ③ 西晋と東晋 ④ 魏と呉

問4 下線部④の突厥とササン朝が共同で滅ぼした対立勢力は、何といいますか。以下の①～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 4

① バクトリア ② ブルガル ③ エフタル ④ フン

問5 下線部⑤のモンゴル高原でウイグルを滅ぼしたのは、何という勢力ですか。以下の①～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 5

① キルギス ② 柔然 ③ アヴァール ④ 鮮卑

問6 下線部⑥のチベットに最初に統一国家を作った王は誰ですか。以下の①～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 6

① ダライ・ラマ ② ソンツェン・ガンポ
③ ハルシャ ④ パスバ

問7 下線部⑦のキタイが初代皇帝の指導のもとに建国されたのは、何世紀のことですか。以下の①～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 7

① 7世紀 ② 8世紀 ③ 9世紀 ④ 10世紀

— 10 — ◇M7(852—140)

2 次の文章を読んで、問1～10に答えなさい。

17世紀前半の東アジアでは、マンチュリア(現在の中国東北部)において満州族が建国した清が、明の滅亡に乗じて中国に進出し、しだいにその支配を固めていった。17世紀後半には、漢族武将の反乱や、台湾に拠点を置いた鄭氏一族の抵抗があったが、このとき皇帝であった康熙帝はこれらの難局をみごとに乗り切り、清の中国支配は盤石なものとなった。その子・孫にあたる雍正帝・乾隆帝の時代には、行財政の改革や軍事活動により皇帝の独裁的権力が強化され、支配領域も広がった。

しかし18世紀末以降、長期化する白蓮教徒の乱や、イギリスとの貿易におけるアヘン密輸入による銀の流出などによって、清の財政はしだいに悪化していった。1851年には洪秀全率いる太平天国が勢力を拡大したが、清はこれを独力で解決することができず、外国人のゴードン率いる常勝軍の協力を得るなどしてようやくこれを滅ぼすことができた。20世紀に入り、清は 20 と呼ばれる改革をすすめるものの、十分な成果をあげることができないまま、ついに1912年、袁世凱により滅ぼされてしまう。

問1 下線部①に関連して、17世紀前半の東南アジア情勢に関する説明として最も適切なものを以下の①～④の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 11

① ビルマでコンバウン朝が成立し、タイのアユタヤ朝を滅ぼした。
② オランダがアンボyna事件を契機にモルッカ諸島からイギリス勢力をしめだした。
③ ベトナムで黎朝が成立し、儒教や官僚制など中国的な国家体制を整えた。
④ ポルトガルがマラッカを占領し、交易の拠点とした。

問2 下線部②に関して、16世紀後半から17世紀初頭にかけて、この地域の特産品として明に輸出されていたものは何ですか。以下の①～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 12

① 生糸 ② 銀 ③ トウモロコシ ④ 毛皮

問3 下線部③に関して、この直前まで、明では政府批判をおこなう地方の郷紳層とその反対派との間で党争が続き、政治が混乱していました。では、このとき江南に集まって政府批判をおこなっていた郷紳たちは何と呼ばれていましたか。以下の①～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 13

① 東林派 ② 東学党 ③ 直隸派 ④ 新法党

— 12 — ◇M7(852—142)

問 4 下線部④に関して、鄭氏に圧力をかけるために清が実施した政策は何ですか。以下の②～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 14

- ② 地丁銀制の導入 ③ 鎖 国
④ 海禁政策 ⑤ 文字の獄

問 5 下線部⑤の人物に関する説明として最も適切なものを以下の②～④の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 15

- ② 皇帝直属の諮問機関である軍機処を設置した。
③ 首都を盛京(現在の瀋陽)から北京にうつした。
④ ジュンガルとの戦いに勝利し、チベットにも勢力をのぼした。
⑤ 外交を扱う機関として、総理各国事務衙門(総理衙門)を設置した。

問 6 下線部⑥の人物に関する説明として最も適切なものを以下の②～④の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 16

- ② 西洋諸国との貿易港を広州一港に限定した。
③ イギリスの使節マカートニーと面会した。
④ ロシアとの間でネルチンスク条約を締結した。
⑤ キリスト教の布教を禁止した。

問 7 下線部⑦に関して、18世紀末において中国からイギリスに輸出されていた主要な商品は何ですか。以下の②～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 17

- ② 茶 ③ 綿製品 ④ 香辛料 ⑤ 綿 花

問 8 下線部⑧に関して、このことを重く見た清は、1839年にある人物を広州に派遣してアヘンの取締りにあたらせました。この人物は誰ですか。以下の②～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 18

- ② 曾國藩 ③ 黄宗義 ④ 林則徐 ⑤ 李鴻章

問 9 下線部⑨に関して、太平天国が掲げたスローガンとして最も適切なものを以下の②～④の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 19

- ② 扶清滅洋 ③ 滅満興漢 ④ 中体西用 ⑤ 挙国一致

問10 空欄 20 にあてはまるものとして最も適切なものを以下の②～④の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 20

- ② 洋務運動 ③ 改革開放 ④ 戊戌の変法 ⑤ 光緒新政

— 13 —

◇M7(852—143)

3 次の文章を読んで、問1～10に答えなさい。

フランスでは16世紀前半から宗教改革運動が起こり、ユグノーと呼ばれる新教徒が、旧教側からの激しい弾圧にもかかわらず、国内に広がっていった。⁽¹⁾この新旧両派の対立は、おりからの名門貴族間の権力抗争に取り込まれ、ユグノー戦争という内乱へと発展した。両派の対立の頂点ともいえるものがサンバルテルミの虐殺である。この戦争は、1562年に始まり、その後30年以上続いた。1589年にブルボン家の 22 がフランス国王に即位すると、新王はユグノーからカトリックに改宗し、1598年にはナントの王令(勅令)を公布して信仰の自由を保障し、ユグノー戦争を終結させた。このブルボン朝の開始とともに、フランスは絶対王政の確立期に入った。

続くルイ13世の時代は、国内はまだ不安定で、貴族や民衆の反乱が頻発した。ルイ14世の即位後、1648年に高等法院や貴族の反乱が起こり、危機を招いたが、この反乱は最終的に鎮圧され、王権を強化する結果になった。

ルイ14世は1661年に親政を開始し、国家財政の確立と不況からの脱出を図った。そのため、財務総監に 25 を起用すると、25 は貿易振興と産業育成等を推進し、財政の健全化を押し進めた。

ルイ14世は、1682年にはヴェルサイユ宮殿に宮廷を移し、豪華な宮廷生活を繰り広げ、権力と財力を内外に誇示した。さらに文化政策にも着手して、国内における文化の均質化を図り、フランス学士院(アカデミー)を通じて言語の統一などを進めた。ルイ14世の親政時代はブルボン朝の全盛期にあたり、フランス社会では古典主義文化が栄え、後世に名を残す喜劇作家や悲劇作家が誕生した。⁽⁶⁾

対外政策では、ルイ14世は軍隊を強化し、南ネーデルラント継承戦争からスペイン継承戦争まで4回の対外戦争をおこなった。1700年にスペイン王家が断絶すると、スペイン王女を后としていたルイ14世は、孫をフェリペ5世としてスペイン王位につけた。これに対して、オーストリア、イギリス、オランダの三国は同盟を結んで対抗し、宣戦した。こうして始まったのが、スペイン継承戦争である。戦争は長期化したのが、最終的に1713年の条約で、ブルボン家のスペイン王位継承が条件付きで認められた。ルイ14世はその2年後に没した。⁽⁸⁾

問 1 下線部①のユグノーは、新教の中の何という宗派に属しますか。以下の②～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 21

- ② カタリ派 ③ カルヴァン派 ④ ルター派 ⑤ ネストリウス派

問 2 空欄 22 にあてはまるものとして最も適切なものを以下の②～④の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 22

- ② アンリ4世 ③ フィリップ4世
④ シャルル9世 ⑤ フランソワ1世

— 14 —

◇M7(852—144)

問 3 下線部②は後に廃止されます。それはいつですか。以下の②～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 23

- ② 1643年 ③ 1685年 ④ 1715年 ⑤ 1789年

問 4 下線部③の反乱を何といいますか。以下の②～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 24

- ② ジャックリーの乱 ③ フロンドの乱
④ ワット＝タイラーの乱 ⑤ ヴァンデーの乱

問 5 空欄 25 にあてはまる人名として最も適切なものを以下の②～④の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 25

- ② マザラン ③ コルベール ④ ケネー ⑤ デイドロ

問 6 下線部④は何という建築様式ですか。以下の②～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 26

- ② ロココ ③ ゴシック ④ ロマネスク ⑤ バロック

問 7 下線部⑤を創設した人は誰ですか。以下の②～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 27

- ② リシュリュー ③ ボシュエ ④ ヴォルテール ⑤ モンテスキュー

問 8 下線部⑥に関連して、ルイ14世の時代のフランス人喜劇作家は誰ですか。以下の②～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 28

- ② モリエール ③ ラシーヌ ④ コルネイユ ⑤ ワトー

問 9 下線部⑦に関連して、この時のスペイン王家は谁家ですか。以下の②～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 29

- ② ヴァロワ家 ③ シュタウフェン家
④ ブランタジネット家 ⑤ ハプスブルク家

問10 下線部⑧の条約を何と呼びますか。以下の②～④の中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 30

- ② カトー＝カンブレジ条約 ③ ユトレヒト条約
④ ウェストファリア条約 ⑤ パリ条約

— 15 —

◇M7(852—145)

4 次の文章を読んで、問1～10に答えなさい。

18世紀末から19世紀初めにかけて、大西洋周辺の各地で、アメリカ革命やフランス革命、そしてラテンアメリカ各地の独立など、革命や独立運動が相次いで生じた。

アメリカ独立革命のなかで発せられた独立宣言には、ヨーロッパで普及していた啓蒙思想の影響が色濃くみられた。また、独立戦争には、ヨーロッパ各地からアメリカの独立を支援する義勇兵が多く参戦した。⁽³⁾

フランスは、アメリカ独立戦争に多大な支援を行い、国庫が破たん寸前の状況に陥った。⁽⁴⁾国王は、新しい税を導入して乗り切ろうとしたが、第一・第二身分の代表の反対にあって、1789年5月に全国三部会が開催された。しかし、その審議における採決方法をめぐって意見が対立した。そこで第三身分の代表は独自の議会をつくって、憲法制定まで解散しないことを誓った。⁽⁵⁾こうしてフランス革命が本格化する一方で、1792年4月、フランスは、反革命運動を支援する諸外国との開戦にもふみきった。⁽⁶⁾フランスはその後、ナポレオン・ボナパルトのもとで積極的に対外戦争を進め、ヨーロッパ大陸のほぼすべてを影響下においたが、諸国は解放戦争に立ち上がり、やがてフランスを追い詰めた。⁽⁷⁾

このようにアメリカの独立とヨーロッパの出来事は互いに関係し合っていたが、大西洋を挟んだラテンアメリカ各地の動きにも大きな影響を及ぼした。18世紀末のラテンアメリカには、黒人奴隷を用いたプランテーション経済が広がっていたが、フランス革命の影響を受けて、奴隷解放運動が始まった。1804年にはカリブ海ではじめて黒人共和国が誕生した。黒人共和国の誕生は、なお黒人奴隷制を維持していた国々に衝撃を与えて、やがて1810年代から20年代にかけて、ラテンアメリカでは多くの国が独立した。⁽⁹⁾

このように、18世紀末から19世紀初めにかけて、大西洋周辺の各地で、革命や独立運動が相互に影響し合いながら生じた。これは「環大西洋革命」と呼ばれている。

問 1 下線部①の主要な出来事に関する正しい時系列について、最も適切なものを以下の②～④の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 31

- ② 第1回大陸会議 → ボストン茶会事件 → 独立宣言 → 合衆国憲法成立
③ 第1回大陸会議 → ボストン茶会事件 → 合衆国憲法成立 → 独立宣言
④ ボストン茶会事件 → 第1回大陸会議 → 独立宣言 → 合衆国憲法成立
⑤ ボストン茶会事件 → 第1回大陸会議 → 合衆国憲法成立 → 独立宣言

— 16 —

◇M7(852—146)

- 問 2 下線部②について、『統治二論』を著して社会契約説を説き、独立戦争の正当化にたびたび援用された思想家は誰ですか。最も適切なものを以下の㉑～㉔の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 32
- ㉑ スミス ㉒ ロック ㉓ ウォルポール ㉔ ホッブズ
- 問 3 下線部③の後、フランスに戻って革命で活躍した貴族は誰でしたか。最も適切なものを以下の㉑～㉔の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 33
- ㉑ ラ＝ファイエット ㉒ テュルゴー
㉓ シモン＝ド＝モンフォール ㉔ マザラン
- 問 4 下線部④の国王は誰ですか。最も適切なものを以下の㉑～㉔の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 34
- ㉑ ルイ 9 世 ㉒ ルイ 16 世 ㉓ シャルル 7 世 ㉔ シャルル 10 世
- 問 5 下線部⑤の議会を何と呼びますか。最も適切なものを以下の㉑～㉔の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 35
- ㉑ 国民公会 ㉒ 公安委員会 ㉓ 国民議会 ㉔ 立法議会
- 問 6 下線部⑥に関連して、『第三身分とは何か』を著わしたのは誰ですか。最も適切なものを以下の㉑～㉔の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 36
- ㉑ ダントン ㉒ ヴォルテール ㉓ ケネー ㉔ シェイエス
- 問 7 下線部⑥のとき、フランスが宣戦布告した国はどこですか。最も適切なものを以下の㉑～㉔の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 37
- ㉑ ロシア ㉒ イギリス ㉓ スペイン ㉔ オーストリア
- 問 8 下線部⑦の戦争のうち、1813 年にフランスが敗北した戦争は何ですか。最も適切なものを以下の㉑～㉔の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 38
- ㉑ アウステルリッツの三帝会戦 ㉒ ライプツィヒの戦い
㉓ トラファルガーの海戦 ㉔ ワーテルローの戦い
- 問 9 下線部⑧はどの国ですか。最も適切なものを以下の㉑～㉔の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 39
- ㉑ ニカラグア ㉒ ガイアナ ㉓ ハイチ ㉔ キューバ

- 問10 下線部⑨に関連した説明として、最も適切なものを以下の㉑～㉔の中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 40
- ㉑ ブラジルは、ポルトガルの皇太子を皇帝に迎えて平和的に独立した。
㉒ 南アメリカの南部では、シモン＝ボリバルが独立軍を鎮圧するために活躍した。
㉓ ポルトガル植民地では、黒人とムラート(白人と黒人の混血)が独立運動の中心となった。
㉔ メキシコは、イグナティウス＝ロヨラの運動によって独立した。